

会 議 録

1 会議名

平成30年度第4回大島区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議

① 地域協議会委員視察研修について（公開）

② 地域協議会が必要と認めて審議する事項について（公開）

(2) その他

① 次期総合公共交通計画の策定について（公開）

② 第5回地域協議会の開催日について（公開）

3 開催日時

平成30年7月20日（金）午後2時から午後2時50分まで

4 開催場所

大島コミュニティプラザ2階 市民活動室1

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：飯田國男、石塚総子、高橋和夫、高橋光成、中村朝彦、早川丈夫、丸田新一、本山啓市、吉原忠正

・事務局：大島区総合事務所 古田所長、武田次長、武江班長、小酒井班長、横尾主任

8 発言の内容

【武田次長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【中村会長】

挨拶

- ・本日の会議録の確認は、委員番号11番の本山啓市委員にお願いします。
- ・次第に基づいて進める。
- ・2協議（1）地域協議会委員視察研修について事務局より説明を求める。

【武田次長】

- ・前回の会議で、早川副会長からの提案を具体的に進めることで了解をいただいた。
- ・本日は、資料として名立区不動地区の「不動を創る会」「不動森あげ米会」、糸魚川市徳合地区の「NPO法人 ふるさと会」のそれぞれの活動を紹介した新聞記事の写しやホームページの写しなどを添付している。

(資料により、各団体の概要を説明)

- ・視察の内容やテーマ、現地で確認したいこと、あるいは前もって共有しておきたい情報などをご協議いただければ、事務局としても視察先へのオファーも円滑に行えると思うので、よろしくお願いします。

【中村会長】

- ・このことについて協議をお願いします。早川委員からも説明をお願いしたい。

【早川委員】

- ・この「不動を創る会」について知人から聞いた話では、この地区には若い人達もおられ、国道から約10キロメートル中心部から離れており、大島区と同様に3メートルほどの雪が積もるところである。
- ・戸数自体も大島地区4地区とあまり変わらない世帯数や人数等であるため、参考になるのではないかと考えている。
- ・徳合地区については、新聞で掲載されて興味を持った。この地区には、地域おこしに尽力する仕掛人が2～3人おられるとお聞きした。手づくり故郷賞を受賞されており、参考になればと思う。

【中村会長】

- ・皆さん他に意見はあるか。

【10番丸田新一委員】

- ・前回の地域協議会でもお話したが、個人的に今程説明のあった地域には視察に行ったことがある。
- ・当区の菖蒲地区では菖蒲市を30年も続けており、私も数回参加しているが、毎年、

地域の方が一丸となって地域の特性を活かしながら盛り上げおり、他の地区においても4地区で特色ある祭りなど、地域の伝統や歴史を活かしながら行っている。

- ・この名立区へ視察に行ってみても、取組が異なるだけで私達の地域で行っていることと全く同じようなことであり、改めて4地区のイベントや取組に参加し、時間をとっていただき、話を伺ったほうが価値はあると思う。
- ・毎年、視察へ行き、様々な取組や経緯をお聞きし、現地も確認するが、それを参考に大島区で新たな取組を行えるかと言えば、なかなか難しい。確かに見聞を広めることも良いが、地元地域がそれぞれ行っている取組を今一度見るのが重要ではないか。

【中村会長】

- ・他に意見はあるか。

【吉原委員】

- ・旭地域の将来を語る勉強会を3回に分けて行った。それなりに皆さん意見を持っておられ、非常に活発な意見交換会であり、有意義なものであった。
- ・視察もただ行くだけでは何にもならない。視察して学んだことを大島区で活かすという発想は今まで無く、地域の活性化に使うという検討会もなかった。

【中村会長】

- ・お二人から意見があったが、多分そういう方向は地域協議会では難しいのではないかと思う。
- ・先進地視察をして各自が勉強し、今後の地域協議会の活動に活かすことはあっても、同じようなことを地域協議会という組織ではできないわけである。
- ・見聞を広めることで地域協議会の活動の中でどう活かしていけるか。委員の皆さんも地元に戻れば地元の色々な役員をされており、その中で役立てるとことであれば、視察の意義はあると思う。
- ・それが地域協議会において何かをするととらえられたら、視察の意味はないと思うし、何もできないだろうと思う。
- ・現実に地域協議会は市からの諮問や自主的審議事項の審議を行い、または地域活動支援事業の採択を決めることはあっても、地域協議会自体が祭りをやるという組織ではないわけである。
- ・それらのことを考えると多分難しい面があると思うし、審議や検討の際により知識

や議論を深めるために、先進地で視察や勉強を行うことは地域協議会委員の質を高めるための役立つとの思いから、今までも実施してきたところである

【早川委員】

- ・視察を行うことで即座に効果が表れるということではなく、皆さんが地域の中で視察先やそこでの取組をPRや周知をして、少しでも地域の活力の向上や活性化のために尽力されれば良いのではないかと思う。
- ・委員それぞれの一般教養を深め、自己研鑽のため視察研修を行うということである。

【10番丸田新一委員】

- ・視察研修に度々行っているわけだが、何も結果が表れず、成果も表れていない。
- ・一つ提案したいのだが、先程紹介した菖蒲市が近く開催されるため、全員でイベントに伺い、その地域の取組を見ながら、参加者と一緒に盛り上げ、地域の皆さんと交流を深めるほうがよほど価値はある。
- ・地域の皆さんも地域協議会の皆さんが総合事務所の職員と一緒に来て見てくれて盛り上げてくれたということが、それが地域の一番の喜びになるのではないかと思う。
- ・地域を見ないで他ばかりを見てきてもなかなか前へは進まない気がしており、身近なところで毎年頑張っている菖蒲市等へ地域協議会として伺いたいと私は思う。

【飯田委員】

- ・先回の地域協議会で今年は視察に行くことと決めたわけであり、行くことを前提に検討した方が良いと思っている。
- ・各地区で色々な事業があるわけだが、それは視察とは別として考えて、各自で参加すればいいと思う。

【10番丸田新一委員】

- ・私が言っていることは、地域の取組も視察先と同様の内容であり、区外にわざわざ出向いて視察をしなくてもいいということである。視察をやらないわけではないので誤解のないように願います。

【中村会長】

- ・実際のイベントや祭りに行くことは、視察研修するということにはならないと思うので、話のあった名立区なり糸魚川市に行き、担当されている方に概要や経緯、苦労話をお聞きすることが何らかの参考になり、それが研修になるのではないか。
- ・例えば菖蒲市であれば、これまでの経過や運営についてお聞きしなければならない

が、お祭りの時に行って聞いていたのでは邪魔になるだろうし、お祭りに皆さんが参加されることは大変良いことであると思うが、それとこれとは別であると思う。

【10番丸田新一委員】

- ・承知した。

【吉原委員】

- ・糸魚川市徳合の取組は、メインの枝垂れ桜を見にくる観光客のため、カフェの営業やその他のイベントを行っていると聞いたが、時期的なものもあるのではないか。
- ・失礼ながら地域をきれいにするなどということは当区では子どもも地域も全員で行っている。

【高橋光成委員】

- ・色々な意見があるが、飯田委員が言われたように先回の会議で今年を行うと決定したのだから視察を行い、今後どうするのか、視察で気づき、学んだことを委員の中で検討して今後の課題としたらどうか。
- ・今回の視察は、名立区と糸魚川市の両方に行くのか。いずれかに行くのか。

【早川委員】

- ・2か所である。

【中村会長】

- ・では、そのように進めるということによろしいか。

(賛成の声)

【中村会長】

- ・詳細は、事務局なり早川委員なりと打合せさせていただくので、よろしくお願ひしたい。
- ・次に(2)地域協議会が必要と認めて審議する事項について、事務局から何かあるか。

【古田所長】

- ・特にない。

【中村会長】

- ・提案者の早川委員から何かあるか。

【早川委員】

- ・3月の地域協議会では意見書を取りまとめる方向で検討を行うということであった

が、それから時間も経過しており、進めていかなければと思っている。

【中村会長】

- ・この件について、皆さん意見はあるか。

【高橋光成委員】

- ・色々な要望事項を提出しても採択されないということが実情である。具申案件としてそれぞれ協議したわけであり、どういうふうに具申すれば良いのか定かではないが、職員からの指導の中で具申できるようなかたちをとっていただきたい。

【中村会長】

- ・3月の地域協議会で意見書を提出しようという話でまとめたが、どのような形で出すべきか、以前は意見書を出す際には、小委員会という部会を置き、協議していたことが多かった。
- ・今回も小委員会的なものを作り、8月9月には比較的地域協議会がない時期なので、検討してみたらと思うがいかがか。
- ・後日、委員でお集まりいただき代表を出していただいて、選出委員と提案者の早川委員と私で、少し内容についてつめるというようなことで進めさせていただくというのでいかがか。

(賛成の声)

- ・ではそのようにさせていただく。
- ・次に3その他(1)次期総合公共交通計画の策定について事務局より説明を求める。

【武田次長】

- ・資料No. 1により説明

【中村会長】

- ・この件について何か質問はあるか。

【高橋光成委員】

- ・市の助成金額の負担が大きくなっていることから見直しを図るのか、住民がよりよく交通機関を利用できるように見直しを図るのか、真意はどうか。

【武田次長】

- ・持続可能な公共交通ネットワークを構築していくには、財源が必要になってくることから非効率なところを整理しなければいけないということは一つある。
- ・ただ、冒頭申し上げたように、高齢者が増えていく中で、今までの公共交通ネット

ワークで良いのかというところもあるため、両面から見直しをかけていきたい、両立するように見直しをかけていくという計画である。

【高橋光成委員】

- ・年々、高齢者が増えていくわけである。免許を返納する方も増えている。親戚を頼って出かけたり病院に行ったりしている。
- ・中山間地域を考えたときに、利益を優先的に考えて、公共交通の運営をすることはいかがかと思う。

【武田次長】

- ・国も高齢者の移動手段の確保に関する検討会というものを設置している。その中で過疎地のサービス維持のための取組に向けた検討もなされているので、これらを参考に反映した中で、今回の計画が策定されていくものだと思っている。
- ・最終的には、一定段階の計画の素案については、地域協議会の皆さんに内容を見ていただき、ご意見を伺うという進め方になっているのでよろしくお願ひしたい。

【古田所長】

- ・計画策定の方向性になるかと思うが、ただ単純に路線を無くそうというだけの問題ではない。
- ・例えば赤字の過疎バスなどについては、お客がいないのに走らせるのか。それを例えば10人乗りの車両にして、デマンド方式にするだとか、そういう部分を含めた中で、より住民の方も利用しやすく、さらには将来的にも持続可能な財政運営の中ではある程度削減できるものはしていきたい。
- ・ただその削減も単純に路線を廃止するのではなく、何かもっと工夫ができないかということや地域の皆様のご意見を聞きながら、デマンド方式なりタクシー利用に対する補助だとかいう色々なやり方があると思われる。
- ・大島区については、スクールバスに一般混乗なので大きく変わることは無いと思うが、それ以外のところでは大型バスを1回運行するだけで何万円もかかってしまうのに、空のバスを走らせることが良いのかというところもある。
- ・これからそれぞれの地区の中で公共交通懇話会を開きながら地域の皆さんの意見を聞き、またアンケート調査をしながら、よりよい方法を検討していくということが方向性になると思われる。

【高橋光成委員】

- ・東西ルートで浦川原小学校から浦川原区内を走るルートになっているが、大島区内は、どのような経路になっているのか。

【武江班長】

- ・東西ルートというのはデマンド運行である。実際に予約しなければ走らない仕組みである。
- ・大島区内ではほとんど走っておらず。浦川原区内の横住方面、末広方面などで、集落から医者までとか、走行移動区間の短い間の運行になってしまっているのが現状である。
- ・先般の公共交通懇話会での東頸バスの話だと、実績では大平中から浦川原診療所まで過去に1人乗っただけということであった。

【高橋光成委員】

- ・この公共交通計画策定もそうであるが、色々な問題が助成金がらみというかたちで財政難という中で何か削られるばかりだと予測をしてしまう。中山間地は助成がなくなるということは施設がなくなるということにつながっていくわけである。
- ・そういうものを大島区総合事務所の皆さんからは、しっかりと住民に目を向けて頑張っていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

【中村会長】

- ・他にあるか。

【10番丸田新一委員】

- ・コミュニティバスというものは、資料の中の移動手段の例では、どこにあてはまるのか。

【武江班長】

- ・乗合タクシーと同じような運行形態だと考えていただければと思う。

【10番丸田新一委員】

- ・どこでも乗って降りられるという仕組みのほうが楽しく利用できると思うが、問題は地域住民がどのように利用していくかということである。

【中村会長】

- ・他にあるか。

(質問なし)

- ・次の(2)第5回地域協議会の開催日について事務局から何かあるか。

【古田所長】

- ・通常であれば月1回ということで8月も計画になるかと思うが、今のところ予定した案件はない。委員の視察研修が9月上旬の予定になっているので、簡易な報告程度であれば、委員研修の際にさせていただく。

【中村会長】

- ・皆さんから特に何かなければ、8月末から9月上旬に視察研修の日程を組んでいただくことになるので、8月の地域協議会は見送りさせていただき、例年9月も稲刈り時期で難しくなることから10月になろうかと思う。かなり先であるので細かい日程については、のちほど調整して皆さんにお知らせしたいと思うが、よろしいか。

(異議なし)

- ・次回は10月ということでお願いしたい。
- ・その他、皆さんから何かあるか。

(その他意見等なし)

- ・では、以上をもって平成30年度第4回大島区地域協議会を閉会とする。

9 問合せ先

大島区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-594-3101 (内線 61)

E-mail : oshima-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。